

丹波地域 社会基盤整備プログラム

(2019～2028 年度)



(主) 春日栗柄線 (丹波市春日町野瀬)



寺奥谷川 (丹波市市島町徳尾)

平成 31 年 3 月 (令和 5 年 3 月 更新)

兵庫県丹波県民局

はじめに

丹波県民局では、地域ビジョンに描いた“自立”“交流”“元気”“絆”“安全安心”をテーマとした5つの将来像の実現を目指し、今後の社会基盤整備の基本方針を示した「ひょうご社会基盤整備基本計画(平成26年3月策定)」のもと、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の視点に基づき、道路や河川などの社会基盤整備を進めています。

事業の推進にあたっては、事業の概要や実施時期などを明らかにした「社会基盤整備プログラム」を策定し、計画的かつ効率的に社会基盤整備に取り組んでいます。

この度、県の行財政の運営について、その基本的な方向等を定めた「兵庫県行財政運営方針(平成30年10月策定)」がまとめられたこと、また、現行プログラムの前期5箇年が終了することを受け、地域の課題やニーズに対応する緊急かつ重要な事業を盛り込み、新たな「社会基盤整備プログラム(2019～2028)」を策定しました。

「丹波の森宣言」と「丹波の森構想」

丹波地域では、昭和63年、県民自らの提案により丹波の地域づくりの理念として「丹波の森宣言」がなされ、平成元年には「丹波の森構想」がこの理念を実現する地域づくりの指針として策定されました。

この構想は、丹波全域を「丹波の森」と位置づけ、地域住民のエネルギーを集結して、自然や伝統文化など丹波地域の特性を活かした地域づくりを、丹波の森づくりとして進めようとするもので、以来、県民と行政が一体となって人と自然・文化・産業が調和した地域づくりに取り組んできました。

【丹波の森宣言】 (昭和63年9月1日)

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを活かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1** 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2** 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3** 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4** 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。



ロゴマーク 「丹波の森」

平成30年
11月18日
制定・公表

【コンセプト】

- 山や森の連なり、丹波霧をモチーフに雄大で美しい自然を深緑色で表現
- 縞模様から、黒大豆畑と稲田のコントラスト、水分れの清流、丹波布の縞模様、丹波焼の鍋(しのぎ)模様、恐竜化石の地層など、さまざまなイメージを想起
- このほかにも、四季をイメージしたカラーパリエーションによる展開も可能

目次

I	丹波地域の社会基盤に関する課題	1
II	今後の社会基盤整備の進め方	2
III	社会基盤整備プログラム	8

本プログラムは、県が主体的にまとめたもので、事業の実施にあたっては、関係者と十分調整を図ることとします。

また、本プログラムの掲載内容は固定化するものでなく、社会・経済情勢の変化などにあわせ、適宜、見直しながら事業に取り組んでいくこととします。

1 計画期間

前期：2019～2023 年度

後期：2024～2028 年度

※「交通安全施設整備事業」、「道路保全事業（老朽化対策）」、「砂防事業」、「ため池整備事業」、「ほ場整備事業」については、前期期間内の事業予定箇所のみを掲載しています。

2 掲載対象事業（以下の条件を全て満たす事業）

- ・ 県土整備部・農政環境部所管の社会基盤整備事業
- ・ 総事業費 1 億円以上の県事業（災害復旧事業、維持修繕事業を除く）

3 事業箇所図

- ・ プログラムに掲載した事業箇所を明示しています。

※着色区間は、該当事業の計画区域の全体を明示しているため、施工済みの区間や計画期間外の施工区間を含む場合があります。

I 丹波地域の社会基盤整備に関する課題

平成 30 年度県民意識調査「ひょうごの道・橋・川」（平成 30 年 9 月実施）の結果に基づき、丹波地域における社会基盤整備の課題やニーズを以下にまとめています。

丹波地域における社会基盤に関わる主な課題やニーズ

(1) 自然災害への備え

- ・ 頻発する集中豪雨に対する治水対策、土砂災害対策

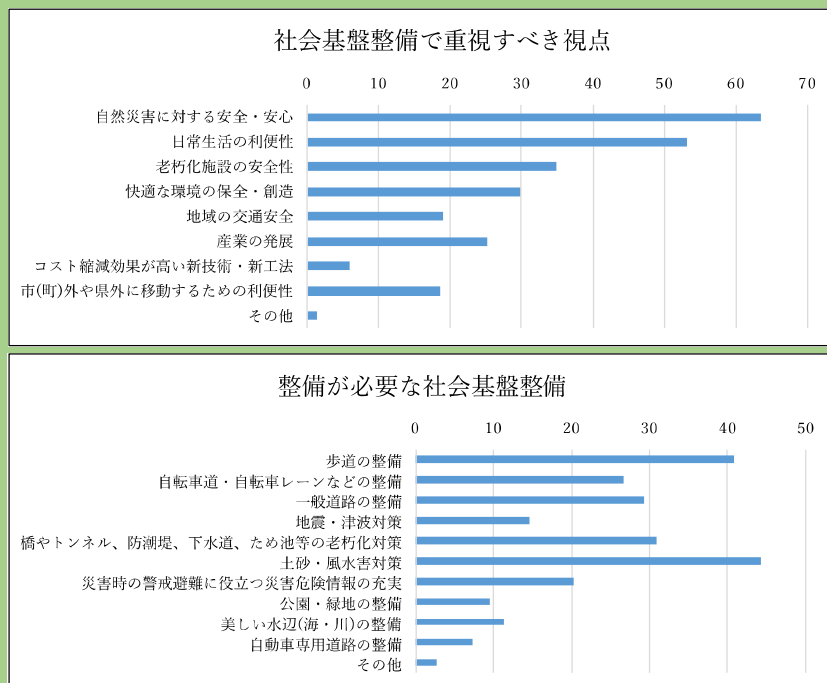
(2) 日常生活の利便性の向上

- ・ 歩行者や自転車の安全性確保

(3) 老朽化施設の安全性の確保

- ・ 橋梁やダム、公園施設等の老朽化対策

【参考】社会基盤に対する地域の声（丹波地域）



(出典：平成 30 年度県民意識調査)

Ⅱ 今後の社会基盤整備の進め方

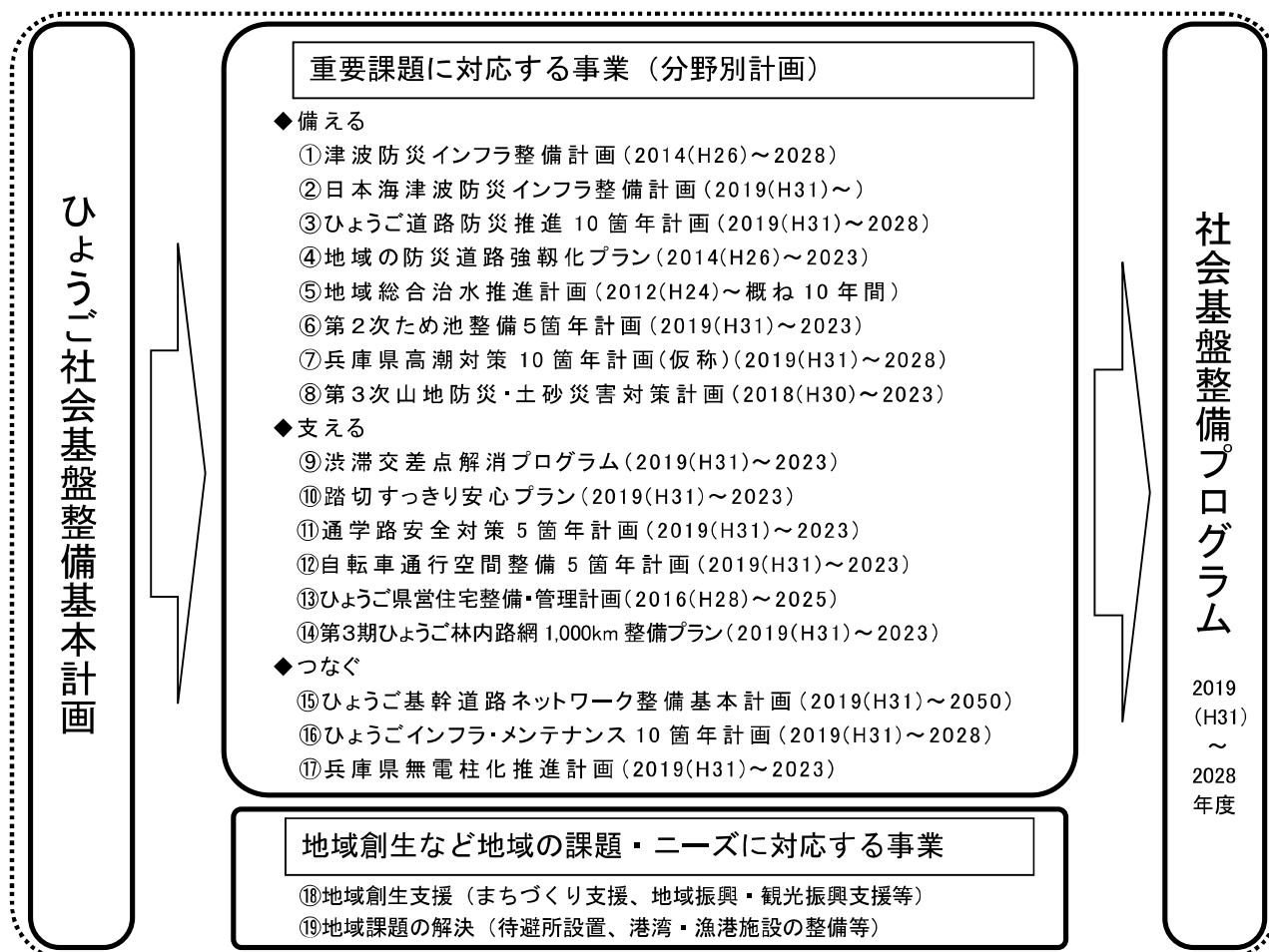
1 社会基盤整備の基本的な考え方

自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点に基づき、緊急かつ重要な取り組みを推進

- (1) 「備える」 自然災害に備える防災・減災対策の強化
 - ・発生確率が高まっている南海トラフ地震や頻発する集中豪雨等に備えた地震・津波対策、総合治水対策、土砂災害対策 など
- (2) 「支える」 日常生活や地域を支える社会基盤の充実
 - ・地域の交流を支える道路の整備
 - ・交差点の渋滞対策や踏切の安全対策 など
- (3) 「つなぐ」 次世代につなぐ社会基盤の形成
 - ・地域活性化の基盤となる基幹道路ネットワークの整備
 - ・今後急速に進展することが懸念される社会基盤施設等の老朽化対策 など

2 推進方策

直面する重要課題に対応した「分野別計画」に基づく事業や、県・市町の地域創生を支援する事業など地域の課題・ニーズに対応する事業を「社会基盤整備プログラム」に位置づけ計画的に実施



I 「備える」 自然災害に備える防災・減災対策の強化

1 頻発する風水害に備える総合的な治水対策

近年多発している局地的豪雨等による水害に備えるため、河川改修や井中川等で中上流部の治水安全度向上を図るなどの河川対策や、雨水貯留やため池の整備等の流域対策を推進

<主な事業予定箇所>

- ・河川事業 (二)武庫川 篠山市当野 他
- ・河川事業 (一)竹田川 丹波市市島町～春日町
- ・ため池事業 皿池・古池 丹波市春日町野上野
- ・ため池事業 春日江(大谷池) 篠山市春日江



(二)武庫川 (篠山市)



(一)竹田川 (丹波市)



皿池・古池 (丹波市)



春日江(大谷池) (篠山市)

2 山の管理の徹底・土砂災害対策

人家等の保全、流木・土砂の流出防止のため、治山ダム・砂防堰堤等を重点整備するとともに、危険渓流を対象に流木・土石流災害を軽減させる緊急防災林整備など災害に強い森づくりを推進

<主な事業予定箇所>

- ・砂防事業 堀壁川 丹波市市島町段宿



堀壁川（丹波市）

II 「支える」 日常生活や地域を支える社会基盤の充実

1 地域の交流を支える道路整備

地域間交流を支えるため、地域課題に対応した国道・県道の整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・道路事業 (国) 429号 [榎峠バイパス] 丹波市青垣町中佐治
- ・道路事業 (主) 篠山山南線 [南バイパス] 丹波市山南町青田～太田
- ・道路事業 (主) 西脇篠山線 [味間南] 篠山市味間北～味間南



(主) 篠山山南線 [南バイパス] (丹波市)



(主) 西脇篠山線 [味間南] (篠山市)

2 日々の暮らしを支える道路整備

日々の暮らしを支える渋滞対策、踏切安全対策などを推進

<主な事業予定箇所>

- ・交通安全施設事業 (国) 176号 篠山市大山下
- ・交通安全施設事業 (一) 篠山京丹波線 篠山市東沢田
- ・交通安全施設事業 (国) 175号 丹波市市島町北岡本



(一) 篠山京丹波線 (篠山市)

3 誰もが安全で安心して暮らせる住まいの提供

安全で安心して暮らせるよう、耐震化・バリアフリー化等の推進や防災・防犯等に配慮した県営住宅の整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・ 県営住宅事業 柏原南多田住宅 丹波市

4 農林水産基盤の整備

効率的・安定的に農林水産業が展開され、農林水産業の多面的機能が十分発揮されるよう、農業・林業・水産業の基盤整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・ ほ場整備事業 乙河内 丹波市市島町乙河内



乙河内 (丹波市)

【地域創生支援事業】

(国) 429号 [榎峠バイパス]

企業誘致による地域創生の拠点として活用を目指している廃校施設のある丹波市青垣地域と京都府福知山市や国道9号への円滑な交通アクセスを支援する。



Ⅲ 「つなぐ」 次世代につなぐ社会基盤の形成

1 計画的・効率的な老朽化対策

社会基盤施設の老朽化の割合が急増することを踏まえ、適時適切な修繕・更新により、総コストの低減と予算の平準化を図るため、計画的・効率的に老朽化対策を推進

<主な事業予定箇所>

- ・道路保全事業 (主)多可柏原線〔船戸橋〕 丹波市山南町梶



(主)多可柏原線〔船戸橋〕 (丹波市)

番号	事業名	河川・路線名〔工区〕	事業場所	事業概要	前期（2019～2023）		後期（2024～2028）		分野別計画等 ※2															
					継続	着手	完了	着手	完了	継続	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭

【事業調整箇所】

①同一路線・河川等における先行事業（Ⅰ期事業、下流工区等）や関連事業の進捗を踏まえ着手時期を見極める箇所

②執行環境（地元調整、関係機関協議等）が整った段階で事業化を進める箇所

(国)372号(丹南バイパスⅡ)(丹波篠山市不來坂)、(主)篠山三和線[鼓峠](丹波篠山市栗柄)

③周辺環境の変化（開発、工場立地、道路ネットワーク等）や、周辺の地域づくりの進展状況など社会経済情勢の動向を見極め事業化を検討する箇所

(一)篠山京丹波線(丹波篠山市般若寺～泉)、(一)奥野々水上線(丹波市柏原町母坪～田路)、(一)福知山山南線(丹波市水上町賀茂)

【略号】(国)国道、(主)主要地方道、(一)一般県道、(都)都市計画道路、(一)一級河川、(二)二級河川

- 令和2年3月一部改定 [追加:93番、箇所確定:82～92番、修正:7、64、76番、その他:篠山市一丹波篠山市に変更]
- 令和3年3月一部改定 [箇所確定:94～103番、修正:27～28、64番]
- 令和4年3月一部改定 [追加:104～124番、修正:6、9、11、13、64、80、81番]
- 令和5年3月一部改定 [箇所確定:125～132番、修正:14、23～25、75、107、108、116番、箇所確定に伴う削除:64番]

事業箇所・内容は、社会・経済情勢の変化などにあわせ、適宜、見直します。

※1:老朽化対策事業の個別箇所については、「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」において公表しています。

※2:分野別計画にかかる事業は、計画期間に含まれる事業に●を記載しています。

事業箇所図

図面袋

ご意見・お問い合わせ先

兵庫県 丹波県民局

〒669-3309 丹波市柏原町柏原688

丹波土木事務所 企画調整担当

TEL 0795-73-3829

FAX 0795-73-0034

丹波農林振興事務所

TEL 0795-73-3790

FAX 0795-72-4063

※丹波県民局のホームページでもご覧いただけます。

URL <http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tanba/index.html>